

九州運輸局 自動車技術安全部

平成30年4月25日

「九州地方におけるエアバッグのリコール改修の動向」(トピックス)

エアバッグのリコール未改修車両を車検で通さない措置について

**平成30年5月から、
エアバッグのリコール未改修の場合、
車検が通らなくなります！
～運輸局から「再確認」の呼びかけ～**

タカタ製エアバッグにおいては、ガス発生装置（インフレーター）が異常破裂し、金属片が飛散する不具合が発生したことから、平成21年以降、各自動車メーカーがリコールを実施しているところです。

これまで、未改修車に対し車検時に警告文の交付を行う等の改修促進の取組を進めていますが、本年3月末時点の国内の改修率は88.4%であり、なお約220万台の未改修車があること、異常破裂による死者が全世界で少なくとも20人を数え、一刻も早い改修が必要であること等を踏まえ、これまでの取組に加え、異常破裂する危険性が高い約84万台（3月末時点）の未改修車について、本年5月から車検で通さない措置を講じます。

九州運輸局では、管内のリコール対象車の改善率の更なる向上及び車検時の混乱を防止するため、昨年秋より順次、研修会等を開催し自動車整備事業者へこの措置に係る説明を行うと共に、各整備事業者の顧客データによる早めの改修を呼びかけています。

しかしながら、今回の措置の対象となるタカタ製エアバッグ装着車両の昨年11月からのリコール改修状況（別紙グラフ参照）を見ると、九州管内での改修実施率は11月末時点の措置対象車両数に対し、本年3月末時点で26.0%と改修自体は着実に進んでいるものの、約5万5千台が未改修の状況です。

そのため、自動車関係団体への継続した協力要請、九州の「道の駅」利用者に対するの啓発ポスターの掲示やリーフレットの設置、街頭検査時などでの自動車利用者への周知、政府広報としてヤフーバナーの掲載（4月30日から5月6日まで）などを通じて迅速なリコールの改修を実施していただけるよう啓発活動を強化し、5月以降の自動車検査・登録窓口における申請者の混乱を最小限にできるよう周知活動を展開しております。

「運輸と観光で九州の元気を創ります」

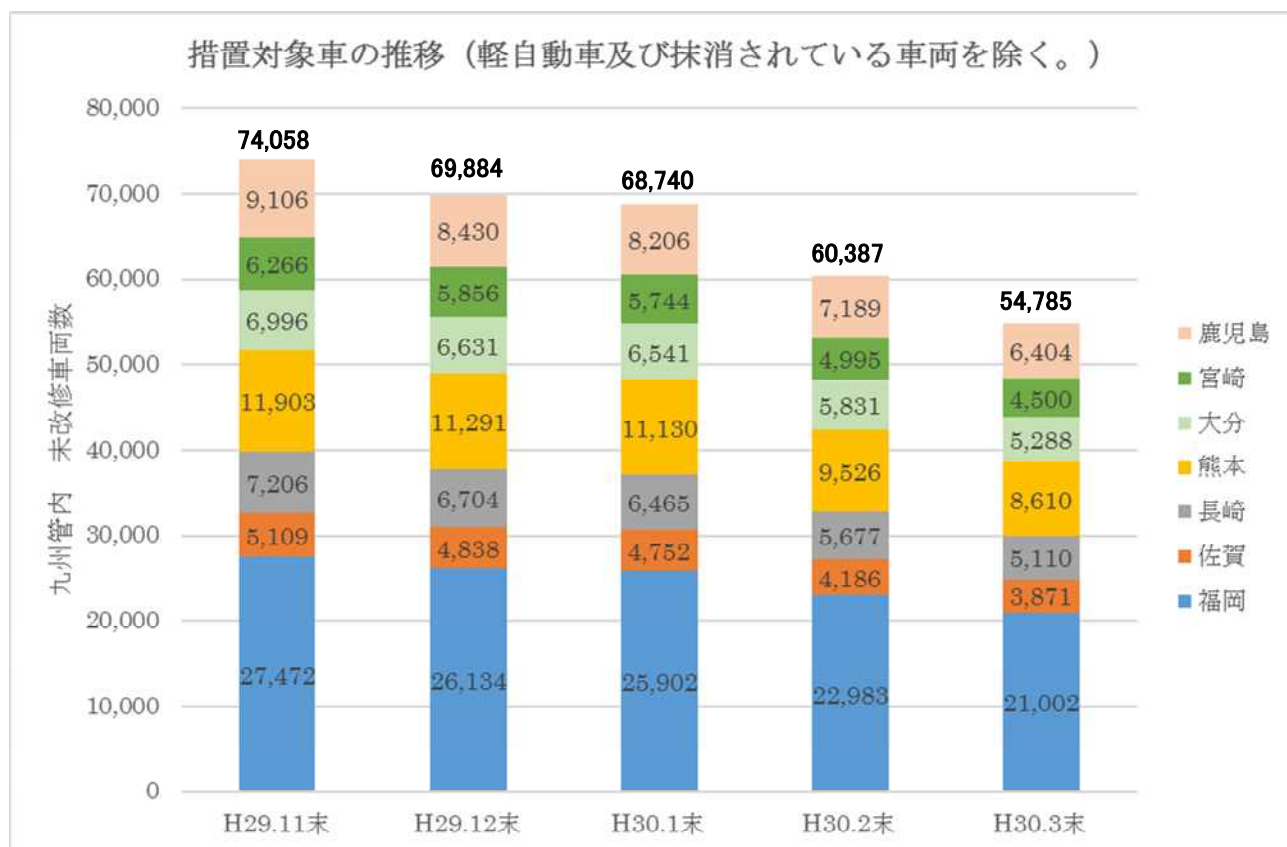


国土交通省 九州運輸局
自動車技術安全部 技術課 牛島、姉川
Tel 092-472-2539
自動車技術安全部 整備課 福島、石井
Tel 092-472-2537

(参考)

タカタ製エアバッグリコール未改修車両を車検で更新しない措置

九州管内県別 対象台数一覧(BMW (約300台) を除く国内メーカーの対象台数)



九州管内のリコール改修率の推移 (H29.12末~H30.3末)
(11月のリコール対象台数(74,058台)を100とした場合の改修率の割合)

